

- 一宮市には森林がないことから、公共施設における木造化・木質化や、木製備品の調達等による木材利用の促進、木育の機会の創出といった普及啓発に取り組むこととしている。
- このため、令和6年度においては、以下の取り組みにより、普及啓発を行った。
 - ・木曽川上流域に、市内の小学生親子を引率し森林環境学習を行った。

□ 事業内容

木曽川上下流域交流会（親子木曽川源流探検隊）

市内の小学生親子を対象とし、木曽川源流の里である長野県木曽郡木祖村へ日帰りバスツアーを開催し、森林環境学習を実施。

【事業費】458千円（うち譲与税300千円）

【実績】7月27日(土)に実施

20組59名が参加



（自然体験（こだまの森））



（味噌川ダム監査廊見学）

□ 工夫・留意した点

- ・行きのバスの中で森林の役割等の座学を行い、実際にこだまの森に行き、自然体験を行った。
- ・木祖村観光協会と連携し、ひのきの箸セットを配付した。

□ 取組の効果

- ・自然の中での様々な体験、森林のはたらきや森林保護の大切さ、水資源の重要性について理解を深めるとともに、木曽川上下流域の交流を深めることができた。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：42,805千円		②私有林人工林面積（※1）：0 ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：380,073人	⑤林業就業者数（※2）：1人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より